

第6学年 算数科学習指導案

平成29年11月15日（水）5校時

6年1組 児童数 23名

場所 じっくりコース 6年1組教室

ぐんぐんコース 6年2組教室

指導者 じっくりコース 松本 哲郎

ぐんぐんコース 岩井 圭

1 単元名 「比例をくわしく調べよう」（東京書籍 p.124～149）

2 単元について

（1）単元観

本単元で扱う比例は、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

第6学年 D（2） 比例

（2）伴って変わる二つの数量の関係を考察することができるようにする。

ア 比例の関係について理解すること。また、式、表、グラフを用いてその特徴を調べること。

イ 比例の関係を用いて、問題を解決すること。

ウ 反比例の関係について知ること。

児童は第5学年第3単元で、伴って変わる2つの数量の関係について、表から読み取ったり、表に書き表したりしながら調べ、一方が2倍、3倍…になると、それに伴って他方も2倍、3倍…になる関係を「○は□に比例する」と表現することを、用語「比例」とともに学習してきた。また、第4単元「小数のかけ算」では、数直線を基に、比例の関係を根拠にして小数をかける式が成り立つことも学習してきた。

本単元では、小学校における関数学習の統括として比例を本格的に取り扱い、その性質や特徴を明らかにしていく。伴って変わる数やその規則性に着目して、問題を解決するという関数の考えを育成する。既習である比例の定義を振り返りながら、まず、2つの数量が比例の関係にあるとき、この関係を「 $y = \text{決まった数} \times x$ 」という文字を使った式で一般的に表現し、既習の比例の内容を式から見直す。次に y が x に比例するとき、 x が小数倍、分数倍になると、 y も同じ小数倍・分数倍になることを表を用いて調べ、「比例の性質」としてまとめる。そして比例の特徴をグラフで表し、比例のグラフは原点を通る直線になることを理解させていく。さらに、比例を日常生活の場面での問題解決に利用し、その有用性を実感させる。

また、単元の後半では反比例を扱うが、「 x の値が2倍、3倍になると、それに伴って y の値は $1/2$ 、 $1/3$ になる。」という反比例の意味を、比例の学習と対比しながら学ぶようにする。既習の比例と比較し確認しながら進めていく。

（2）児童観

本学級の児童は、今年度の全国学力・学習状況調査において、算数A・Bの正答率が全国平均を上回っており（A：+13.4、B：+11.3）、領域別でも全領域で全国平均より高い結果となった。知識・技能の習得が進み、思考力・判断力・表現力（＝活用力）も一定身に付いてきていると言える。しかし、個別に見ると学力の個人差が大きく、特に活用力を要する問題で誤答が多かった。レディネステストでは比例の関係を問うものは全員正答できていたが、道のりを求める式を、文字をつかって立式することや、比の値を最小の整数で表すことに課題が見られた。いずれも2学期で学習した単元であるため、学習内容の定着の弱さが課題となる。学習内容の定着と既習事項の活用を、再度意識させる必要がある。

また、授業の中で、対話や全体協議などの際に、自分の考えを簡潔かつ的確に説明できる児童が増えてきた一方で、対話の際に自分なりの考えが持てなかったり、気づきや考えを自分の言葉でまとめられなかったりする児童も依然見られる。さらに、算数日記でもしっかりと授業を振り返り、分かったことやできるようになったことなどを自分の言葉でまとめられた記述が見られるようになった中、授業感想やまとめの書き直し程度しか書かれていないものも少なからずある。したがって、授業が発言や対話に積極的な児童中心に進み、算数に対して消極的な児童や、活用力につまずきのある児童たちが置いて

いかれがちになりやすいと考えられる。そこで、一人一人の様子をそれぞれの学習活動の中での的確に見取り、各自が自分で考え、自分の言葉で伝えられる支援や手立てを講じていく必要がある。

(3) 指導観

児童は、比例関係の素地的な学習を数多く経験してきている。それらを既習事項としながら、本単元では、比例関係の考察を通して、数量関係の見方・考え方をさらに広げたり深めたりする活動に取り組んでいく。また、日常生活に関係のある課題を設定したり、具体的な操作などを多く取り入れたりすることで、一人一人が興味・関心を持って学習に取り組めるようにしながら、対話やグループ学習に自分なりの考えを持って臨めるようにしていく。例えば、表に表された数量関係を読み取る学習活動では、これまでは主に表を横に見ながらその変化の仕方を考察してきたが、本単元では、表を見る方向を変え、縦や斜めに見ることで新たな視点で数量関係を考察することになる。また、第5学年では未習の、比例の関係をグラフに表す学習では、比例の関係にある2つの数量について様々な点を実際にノートやグラフ用紙などに記入し、比例の関係を表すグラフが原点を通る直線になることを、具体的な操作を通して学習していく。さらに、グラフからxやyの値を求めたり、2本の直線のグラフから様々な具体的な場面を読み取り、説明し合ったりしていく活動も取り入れ、比例の考えを用いて、様々な問題に活用できるようにしていく。

本時は、2社の携帯電話の1カ月の通話代金をグラフ化したグラフを読み取り、どちらが得か考察していく。その際、2つのグラフのうち片方は比例のグラフではないものを用いる。難易度が高く、一つ一つの情報をきちんと整理しないと混乱する児童が出ることが予想されるが、既習事項を活用して様々な問題を解決していく力の育成を、子どもたちが高い興味関心を持っているスマホを題材とした課題で行いたいと考え、敢えて指導計画に組み込んだ。学びを日常生活につなげていくことと、日常の事象を比例の性質を用いて数理的にとらえていくことのよさに気付かせることをねらっている。但し、現実社会でのスマホやその料金プラン等の設定をそのまま用いるのではなく、比例についての既習事項を活用し易いような設定にした。既習事項を基に考察し、グラフや表を根拠に自分なりの考えを持たせ、それらを表現し合いながら、さらに考えを深めさせていきたいと考えている。

(4) 研究主題との関連

本校の研究主題は「主体的・協働的に学ぶ児童の育成」である。単元を通して、必然性のある対話と活用可能な振り返りを工夫・改善しながら、深い学びの達成を目指していく。本単元では、自分の考えを言葉、数、式、表、グラフなどを用いて説明し合う対話活動や、いろいろな考え方やそのよさを話し合う対話活動を、児童が話したくなるタイミングや、めあての達成に直結する場面などで積極的に取り入れることで、多面的で深い学びにつなげるようにしたい。その際、より多様な考えが持てるように、視覚的、具体的に思考、操作できる教材を積極的に提示・提供していくことで、児童の関心・意欲を高めるとともに、自ら話したくなる、友だちの考えを聞きたくなるように仕組み、主体的かつ協働的な学習活動につながるようにしたい。また、毎時間振り返りの時間を確保し、その時間に分かったことや気づいたことに加えて、何ができるようになったか、今後の学習や生活にどのように生かしていくかなども自分の言葉で書かせていく。

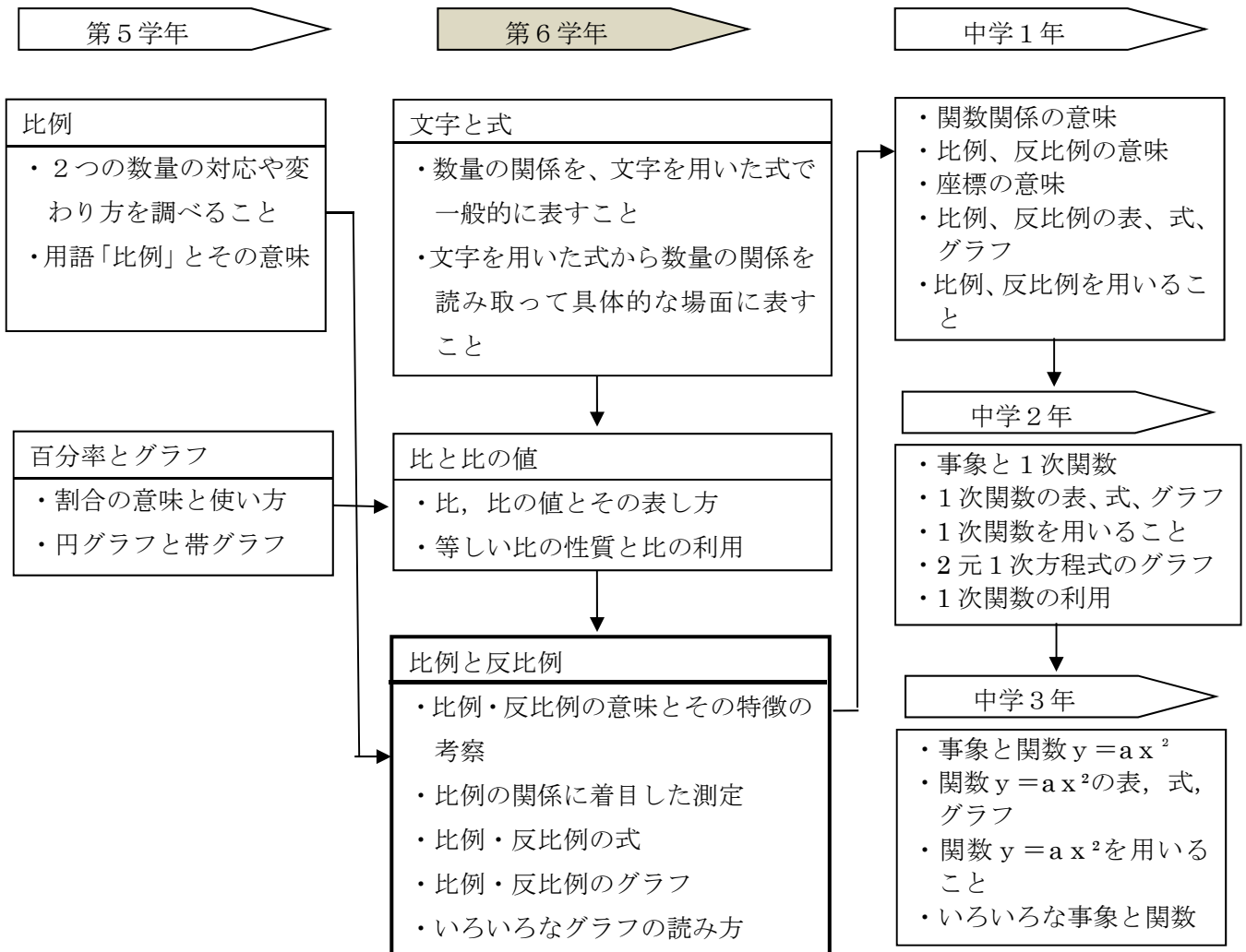
3 単元目標

○伴って変わる2つの数量の関係を考察することを通して、比例や反比例の関係について理解し、関数の考えを伸ばす。

4 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
・ 比例の关系到に着目するよさに気づき、比例の関係を生活や学習に活用しようとしている。	・ 比例の関係を表や式、グラフに表し、特徴を一般化してとらえ、身の回りから比例の関係にある2つの数量を見いだして問題の解決に活用している。	・ 比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を式、表やグラフに表すことができる。	・ 比例や反比例の意味や性質、表やグラフの特徴について理解している。

5 本単元の学習の関連と発展



6 指導と評価の計画（全18時間）

次	時	主な学習内容	主な言語活動	評価					主な評価規準（評価方法）
				関	考	技	知		
第一次 比例の式	1	・ いろいろな2量の関係について、比例の関係かどうか調べる。	2つの数量が比例しているかどうかについて、既習事項を基に説明する。	◎					【関】 比例の関係に興味をもち、その関係を式に表そうとしている。（観察・発言）
	2・3	・ 比例の関係を、式に表す方法を考える。 ・ y が x に比例するとき、 y を x でわった商は一定で、その関係を一般的な形の式に表せることをまとめる。 ・ 平行四辺形の高さを一定にしたとき、面積は、底辺の長さに比例することを、比例の特徴を使って確かめる。	x と y の関係を、式に表す方法を考え、説明する。 比例の性質を使って、2量の関係が比例しているかどうかを考え、説明する。			◎	○		【知】 y が x に比例するとき、 $y = \text{決まった数} \times x$ と表せることを理解している。（ノート・発言） 【技】 比例の関係を式に表すことができる。（ノート・観察）

第二次 比例の性質	4	- 比例する2つの量の関係には、どんな性質があるか調べる。 - yがxに比例しているとき、xの値が1/2倍、1/3倍、…になると、それにもなってyの値も1/2倍、1/3倍、…になることをまとめる。	比例する2つの量の関係には、どんな性質があるか調べて説明する。				◎	【知】yがxに比例するとき、xの値が分数倍になると、それに伴ってyの値も同じ分数倍になることを理解している。 (観察・ノート・発言)
	5・6	比例の関係をグラフに表して考察することができ、比例のグラフの特徴を理解する。	比例の関係をグラフから読み取り、説明する。				○	【知】比例のグラフは原点を通る直線になることを理解している(発言・ノート) 【技】比例の関係をグラフに表したり、グラフから読み取ったりすることができる。 (観察・発言)
第三次 比例のグラフ	7	比例のグラフを考察することを通して、比例のグラフについて理解を深める。	傾きの異なる2本の比例のグラフから、速さの違いや時間の差、道のりの差などを読み取り、説明する。				◎	【技】傾きの異なる2本の比例のグラフから、それぞれの特徴や事象の様子などを読み取ることができる。 (発言・観察)
	8 (本時)	比例の性質を活用してグラフを読み取り、問題を解決する。	一部比例していないグラフを、比例の性質に着目して読み取り、目的に応じて表現する。		◎			【考】比例の性質を活用して、変則的な比例グラフを読み取り、目的に応じて情報を整理し、表現している。 (観察・ノート)
第四次 比例の利用	9・10	- 画用紙300枚を、全部数えないで用意する方法を考える。 - 速さを一定と考えた場合、道のりは時間に比例することを使って、東京を出発後、新幹線が新富士駅を通過するまでに何分かかるかを考える。 - 比例の関係を使って問題を解決する。	比例の性質を活用して問題を解決し、その方法を説明する。		◎		○	【考】比例の関係にある2つの数量を見つけ、比例の性質を問題の解決に用いることができる。(観察・発言) 【知】比例の性質を理解している。(ノート・発言)
	11	「力をつける問題」に取り組む。	問題の解決方法を説明する。				◎	【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。 (ノート・観察)

第五次 反比例	1 2	- 面積が決まっている長方形や、周りの長さが決まっている長方形の、縦や横の長さの変わり方を調べる。 - 縦の長さが2倍、3倍、…になると、横の長さはどう変わるか調べる。 - 用語「反比例」の意味を知る。 - 一方が増えると、もう一方は減るという関係が必ずしも反比例ではないことを確認する。	面積が決まっている長方形や、周りの長さが決まっている長方形の、縦や横の長さの変わり方を調べて説明する。	○			◎	【関】2つの量の変わり方に興味をもち、表を使ってその関係を調べようとしている。 (観察・発言) 【知】反比例の意味を理解している。(発言・ノート)
	1 3 ・ 1 4	- 反比例の関係を式に表す方法を考える。 - yがxに反比例するとき、xとyの積は一定で、その関係を一般的な形の式に表せることをまとめる。	反比例の関係を式に表す方法を考え、説明する。	○		◎		【関】反比例の関係に興味をもち、その関係を式に表そうとしている。(観察・発言) 【技】反比例の関係を式に表すことができる。 (ノート・観察)
	1 5	- 反比例する2つの量の関係には、どんな性質があるか調べる。 - yがxに反比例しているとき、xの値が1/2倍、1/3倍、…になると、それにもなってyの値は2倍、3倍、…になることをまとめる。	反比例する2つの量の関係には、どんな性質があるか調べて説明する。		○		◎	【考】反比例する2つの量の関係について、比例の関係を基に、表などを用いて調べている。(観察・発言) 【知】yがxに反比例するとき、xの値が1/2倍、1/3倍、…になると、それにもなってyの値は2倍、3倍、…になることを理解している。(発言・ノート)
	1 6	反比例する関係をグラフに表して、その特徴を調べる。	反比例の関係をグラフから読み取り、説明する。			◎	○	【技】反比例の関係をグラフに表したり、グラフから読み取ったりすることができる。 (発言・観察) 【知】反比例のグラフの特徴を理解している。(発言)
第六次 まとめ	1 7 ・ 1 8	「しあげのもんだい」に取り組む。 - 発展学習として、巻末p. 244の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組む。	問題の解決方法を説明する。		○		◎	【知】基本的な学習内容を身につけている。(ノート・観察) 【考】比例の関係を活用して、応用問題を解決している。 (ノート・観察)

7. 本時の指導（8／18）ぐんぐんコース

（1）本時の目標

本時の目標	比例の性質を活用してグラフを読み取り、問題を解決することができる。
本時の評価規準	【考】比例の性質を活用してグラフを読み取り、目的に応じて情報を整理し、表現している。

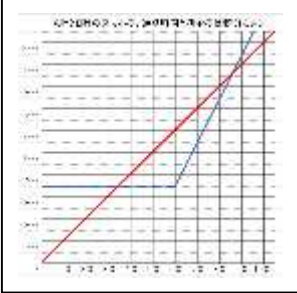
（2）準備物

・スマホの写真と情報 ・グラフの拡大図 ・ワークシート ・ヒントカード

（3）展開

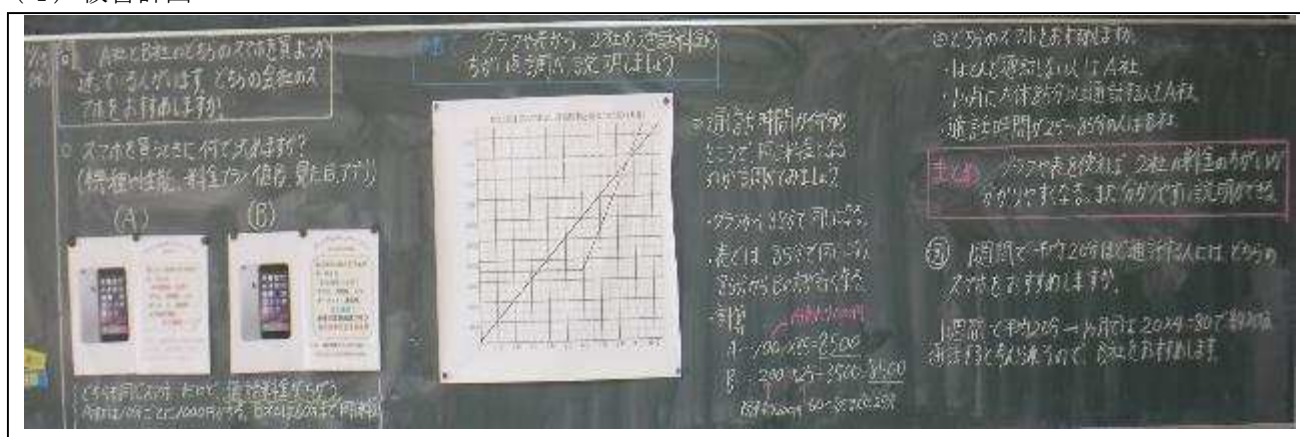
学 習 活 動	主な発問（○）と予想される児童の反応（・）	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点（・） 対話（○）振り返り （※）
1 本時の課題を知る。 ・前時の学習を振り返る。 ・課題で扱う場面の設定をつかみ、学習への関心を高める。 ・本時の課題を知る。	○比例のグラフの特徴を言いましょう。 ・直線になる。 ・「0」を必ず通る。 ○前時はどのような学習をしましたか。 ・2つのグラフを同時に読み取りました。 ・2本のグラフから色々ことが分かりました。 ○スマホを買うとき、何で決めますか。 ・値段です。 ・便利で使い易いもの。 ・格好いいやつがいい。 ・月々の料金が安いプランがあるもの。		・用語「原点」をおさえる。 ・スマホの写真を1枚提示する。
導 入 10分	A社とB社のどちらのスマホを買おうか迷っている人がいます。あなたならどちらの会社のスマホをおすすめしますか？ （Aのチラシ）	○2社のスマホはこれです。 ・同じスマホだ。 ・どちらもいっしょ。 ○2社のチラシがあるけど、これを読んでも同じでしょうか。 ・ほとんど同じ条件だ。 ・A社もB社も通話料金はかかるよ。 ・B社は定額プランみたいだね。	・2枚目のスマホの写真を提示する。 ・2社のチラシ(情報)を提示する。 ・本体の見た目や通話料金以外の費用が同じであることを確認する。

	(Bのチラシ) 2 めあてを確認する。 ・めあてを設定する。	○2社のちがいは何ですか。 ・通話料金がちがう。 ・A社は通話時間が長くなると、それにともなって料金も高くなる。 ・B社は60分までは同じ値段だ。 ・60分をこえると、値段が上がると書いてある。 ○2つの通話料金のちがいを分かりやすく比べるのは、どうすればいいですか。 ・グラフで表すとよい。 ・表にまとめる。	・簡単に通話料金を比較できないことに気付かせる。
	グラフや表から、2社の通話料金のちがいを調べ、どちらがお得か説明しよう。 ・グラフ①を見て、気づいたことを述べ合い、見通しを持つ。 (グラフ①)	○この2つのグラフを見て、どんなことが分かりますか。 ・片方は横一直線で、もう片方は比例のグラフのようになっている。 ・Aは通話時間が10分ごとに1000円ずつ上がっている。Bは60分までは、どこでも3500円。 ・通話時間が25分を超えるとA社の料金が高くなる。	・縦軸が料金、横軸が通話時間など、基本的な事項をおさえる。 ・A社のグラフは比例のグラフになっていることをおさえる。 ・座標の読み方を確認しておく。 ・2つのグラフが交わる点の意味をおさえる。
3 2つのグラフを読み取り、問いに迫る。 ① チラシの情報からグラフの続きを考える。 (グラフ②)		○グラフはその後、どうなると思いますか。 ・A社は同じように伸びる。 ・B社は60分を過ぎたら、上がっていくね。 ○どちらの会社の方がお得ですか。 ・このまま上がっていくと、B社の方が高くなる。 ・グラフの続きを見せてほしい。	・グラフ②を提示する。 ・「このまま上がっていくと・・・」という比例を仮定する発言を引き出す。

展 開 2 5 分	② グラフ②を見て、B社がA社の料金に追いつくのは通話時間が何分のときか考える。 ・ 自力解決を行う。 ・ 対話で考えを伝えあう。 ・ 全体で協議する。  (グラフ③) 4 表やグラフを基にA社が得な通話時間とB社が得な通話時間についてまとめる。 ・ 自力解決で考えをノートにまとめる。 ・ 対話で説明し合う。 ・ 全体で協議する。	○このままいくとB社の方が高くなるという意見が出ましたが、本当ですか。 ・ A社の上がり方はずっと同じだけど、B社の上がり方はA社より急だから。 ○では、通話時間が何分のところで2社の通話料金が同じになるのか調べてみましょう。 ・ グラフに書き込んでもいいですか。 ・ 表も使ってみよう。 ・ 計算でもできそう。 ○調べたことを対話で伝え合いましょう。 ・ グラフや表を基に対話する。 ・ 計算で求める方法も説明する。 ・ 友だちの考えを書き足す。 ○対話したことを発表しましょう。 ・ グラフを伸ばすと、85分のところで重なりました。 ・ 本当にかっちり85分かな。 ○表についても発表してください。 ・ 1分ごとにまとめると、85分のときに同じになりました。 ○結局、どちらの会社のスマホがおすすめなのか。 ・ ほとんど通話をしない人はA社がおすすめ。 ・ 1ヶ月に85分以上通話する人もA社の方がおすすめ。 ・ 通話時間が25分から85分までの人は、B社がおすすめ。	【考】比例の性質を活用してグラフを読み取り、目的に応じて情報を整理し、表現している。(観察・発言)	・ ワークシートを配布する ・ グラフと表から求めさせる。 ・ 自力解決が進まない児童には、それぞれが10分経つとどれだけ上がっていくかに着目させる。 ○グラフや表を根拠に説明していくようにする。 ○料金が比例していること、比例しているからグラフを延長できることを、対話を通して全員に表現させる。 ・ グラフ③を提示する。 ・ 表は書画カメラで提示する。 ・ 10分ごとにまとめた表では正確な時間は分からないことを確認する。 ・ 児童の発言を基に、情報を整理し、どちらのスマホがお得なのか考えさせる。 ・ 具体的な数値を用いるようにする。
----------------------------------	--	---	---	--

ま と め 1 0 分	5 まとめる。			・児童の言葉でまとめる。
	グラフや表を使えば、2つの会社の料金のちがいが分かりやすくなる。			
	6 本時の振り返りを行う。			
	① 適用問題に取り組む。			
	1週間で平均20分ほど通話する人には、どちらのスマホをおすすめしますか。			
	・自力解決で自分の考えをまとめる。 ・対話で考えを伝え合う。 ・全体で共有する。	○対話では、自分の理由や根拠も伝え合いましょう。		・1ヶ月はおよそ4週間であることをおさえる。 ○具体的な数値を用いて説明するようにする。
	② 算数日記を書く。			

(4) 板書計画



児童のノートは書画カメラで提示し、ポイントのみ板書する。

7. 本時の指導（8／18）じっくりコース

（1）本時の目標

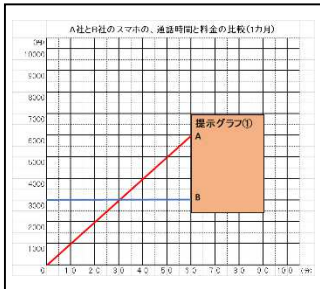
本時の目標	比例の性質を活用してグラフを読み取り、問題を解決することができる。
本時の評価規準	【考】比例の性質を活用して、複雑な変化をするグラフを読み取り、目的に応じて情報を整理し、表現している。

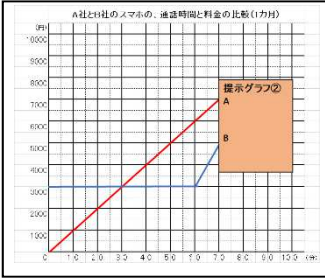
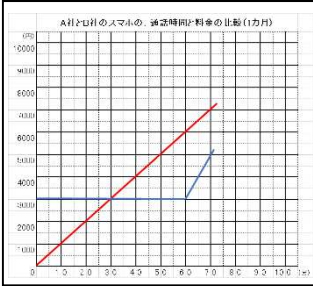
（2）準備物

・スマホの写真 ・提示用グラフ ・ワークシート

（3）展開

学 習 活 動	主な発問（○）と 予想される児童の反応（・）	評価規準 （評価方法）	指導上の留意点（・） 対話（○）振り返り（※）
1 前時の学習を振り返る。	○比例のグラフの特徴を言いましょう。 ・直線になる。 ・「0の点」を必ず通る。		
2 本時の課題を知る。			
スマホの契約をするならA社とB社のどちらがお得でしょうか。			
・課題で扱う場面の設定をつかみ、学習への関心を高める。 ・提示グラフ①の確認を行う。 ・提示グラフ①を見て、気づいたことを述べ合い、見通しを持つ。	○スマホを買うとき、何で決めますか。 ・値段です。 ・便利で使い易いもの。 ・格好いいやつがいい。 ・料金が安いもの。 ○このグラフは時間と何の関係を表していますか。 ・時間と通話料金です。 ○この2つのグラフを見て、どんなことが分かりますか。また、今までのグラフと何が違いますか。 ・線が交わっている。 ○交わるとはどういうことですか。 ・料金が同じになること。 ・片方は横一直線で、もう片方は比例のグラフになっている。 ○なぜ比例と言えますか。 ・A社は10分で1000円ずつ上がっているから。 ○それでは、A社は通話時間20分のとき、料金はいくらになりますか。 ・2000円です ○30分なら。 ・3000円です。 ・B社はどれだけ通話しても料金は同じになっているから比例ではない。 ・30分を超えるとA社の方が高くなる。		・2つのスマホの写真を提示し、本体の値段も見た目も同じであることを確認する。 ・スマホ選びの際に、料金設定が大事であることをおさえる。 ・縦軸が料金、横軸が通話時間など、基本的な読み取り方を確認する。 ・グラフを段階的に見せ、問題場面を把握させる。 ・A社のグラフは比例のグラフになっていることをおさえる。 ・表でも確認し、表とグラフの対比から、グラフの有用性に気づかせる。



	3 2つのグラフを読み取り、問いに迫る。 提示グラフ②を見て、気づいたことを述べ合う。  ・提示グラフ③を見て、B社がA社の料金に追いつくのは通話時間が何分のときか考える。 	○みんなはどちらを選びますか。 30分以上話したいからB - あまり話さないからA ○グラフには続きがあります。どんなことが分かりますか。 60分を超えたらB社の料金が上がり始めた。 ○どちらの会社の方がお得だと思いますか。 - このまま上がっていくと、B社がA社の料金を超えそう。 - なぜ、B社がA社を超えと思うのですか。 - B社の上がり方がA社より急だから。 - A社は10分で1000円上がるけど、B社は10分で2000円も上がるから。 - グラフの続きを見せてほしい。 ・グラフが途中で終わっている。通話時間が何分のところで追いつくのかな。 ○何分くらいに追いつくと思いますか。 90分か100分くらい。 ○では、通話時間が何分のところで追いつくのか調べてみましょう。 - グラフに書き込んでもいいですか。	グラフ②を提示する際もどちらが得かを問い、時間ごとの料金を全員が把握できるようにし、「このまま上がっていくと・・・」という比例を仮定する発言を引き出す。
展 開 2 0 分	4 めあての設定 グラフからB社が再びA社と同じ料金になる時間を見つけ、どちらがお得か考えよう。 - 自力解決を行う。 - 対話で考えを伝えあう。	○調べたことを対話で伝え合いましょう。	グラフを根拠に説明していくようにする。

	・全体で協議する。 ・両方のグラフを伸ばしてよいことを対話で説明し合う ・全体で確認する。 4 グラフを基にA社が得な通話時間とB社が得な通話時間について説明する。 ・これまでの活動を基に、問いに迫る。 ・自分の考えをノートにまとめる。 ・対話で説明し合う。 ・全体で協議する。	○どちらもこのまま料金が上がると、B社が再びA社と同じ料金になる時間は何分の時でしょうか。 ・グラフを伸ばすと、90分のところで2社が重なりました。 ○なぜ、グラフを伸ばすことができたのですか。 ・A社ははじめから10分ごとに1000円上がっているの、このまま伸ばすことができます。 ・B社も60分より後は、10分で2000円ずつ上がると考えて伸ばしました。 ○結局、どちらの会社のスマホを買うのがお得なのですか。 ・通話時間によって変わる。 ・よく電話をする人はA社の方がお得。 ・通話時間が30分から90分までの人は、B社がお得だね。 ・90分以上ならA社。	【考】比例の性質を活用して、複雑な変化をするグラフを読み取り、目的に応じて情報を整理し、表現している。 (観察・発言)	○料金が比例していること、比例しているからグラフを延長できることを、対話を通して全員に表現させる。 ・児童の発言を基に、通話時間ごとにどちらの会社がお得か整理する。
まとめ 10分	5 まとめる。 グラフを使えば、どちらの会社がお得なのか分かりやすい。 6 本時の振り返りを行う。 ・適用問題に取り組む。	○実はもう1社ありました。C社の時間と通話料金の関係をグラフに表します。		・児童の言葉でまとめる。 ・C社は2000円から始まり、10分で500円ずつ上がっていく。 ・自分なりの理由や根拠を明らかにして説明させる。

	通話時間が60分と90分のとき、どこの会社がお得ですか。 - 自分の考えをまとめる。 - 対話で考えを伝え合う。 - 全体で共有する。 - 算数日記を書く。		
--	--	--	--

(4) 板書計画

